

住生活カンパニー

中核事業の収益基盤の強化と積極的な資産入替を図ると共に、
更なる成長機会の獲得に挑戦します。

事業分野

- 木材・建材（製造、卸）
- 紙・パルプ・衛材（製造、卸）
- 天然ゴム・タイヤ（加工、卸、小売）
- 住宅・物流施設等開発・運営
- 物流（3PL、国際輸送等）



住生活カンパニー プレジデント
吉田 朋史

カンパニーの強み

- 各事業分野における確固たる地位とバリューチェーン
- 各事業分野間の連携を通じたシナジー創出
- 資産ポートフォリオの積極的入替による経営基盤の強化



左から
生活資材部門長
建設・物流部門長
住生活カンパニーCFO
住生活経営企画部長

村井 健二
真木 正寿
山口 和昭
山内 務

事業展開



バリューチェーンで見る主要な事業展開

※ 略称の正式企業名は、頁下段「業績推移」をご参照ください。

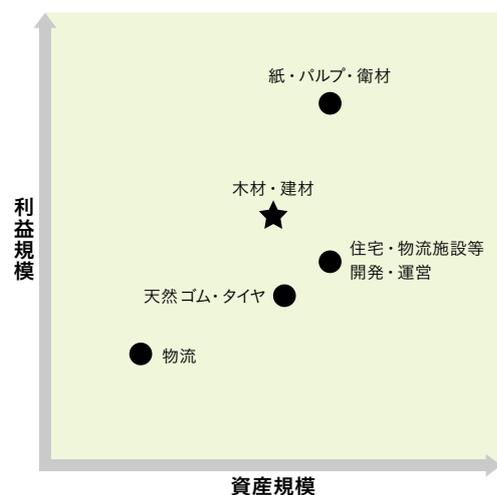
	製造・加工	流通	小売
紙・パルプ・衛材	2 ITOCHU FIBRE / 3 日伯紙パルプ	伊藤忠紙パルプ	
天然ゴム・タイヤ	P.T. ANEKA BUMI PRATAMA	LLC-ITR	1 European Tyre Enterprise
木材・建材	PACIFIC WOODTECH / CIPA LUMBER / Alta Forest Products / 大建工業*	4 伊藤忠建材 / MASTER-HALCO	

	開発	管理・販売	REIT・ファンド
住宅・物流施設等 開発・運営	5 伊藤忠都市開発	伊藤忠アーバンコミュニティ / 伊藤忠ハウジング	ADインベストメント・マネジメント

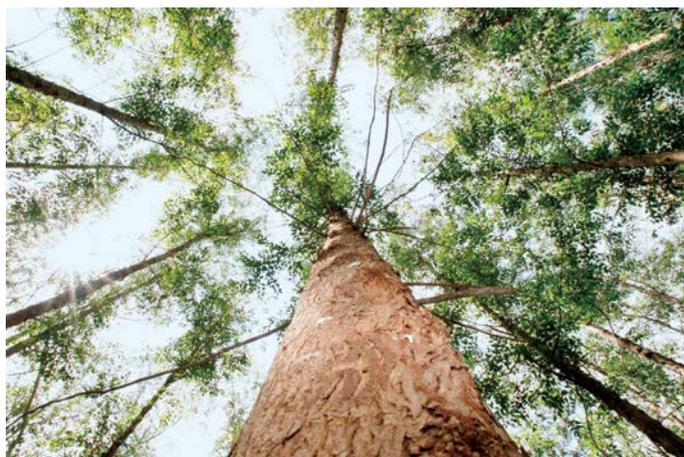
物流	6 伊藤忠ロジスティクス / 伊藤忠物流(中国) / 頂通物流集団*		
----	------------------------------------	--	--

*持分法適用関連会社

資産ポートフォリオと効率性



※ ★は注力分野



業績推移及び主要連結対象会社からの取込損益内訳

単位：億円

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度(計画)*1
連結純利益	359	256	276	557	700
主要連結対象会社からの取込損益内訳					
1 European Tyre Enterprise Limited (Kwik-Fit)	47	△299	△52	58	62
2 ITOCHU FIBRE LIMITED (METSА FIBRE*)	59	69	43	99	—
3 日伯紙パルプ資源開発株*(セニブラ)	14	37	29	42	—
4 伊藤忠建材株	28	17	26	27	26
5 伊藤忠都市開発株	24	28	26	24	23
6 伊藤忠ロジスティクス株	19	21	24	27	26
セグメント別資産	9,540	8,108	8,404	9,788	—
ROA(%)	3.8	2.9	3.3	6.1	—
基礎収益	—	431	381	467	—

※1 「2018年度(計画)」は、2018年5月2日公表の数値を表示しています。

※2 「*」は持分法適用関連会社です。



「Brand-new Deal 2017」レビュー

欧州でタイヤの小売・卸を展開している European Tyre Enterprise 社は、各種施策が奏功し、増収増益となりました。また、サービスの向上に伴い顧客や第三者から高い評価を得ており、着実に収益力の強化を実現しています。

パルプ事業では、フィンランドの針葉樹パルプメーカーである METSA FIBRE 社が、2017年8月の新工場竣工に伴う増産により、世界最大の製紙用の市販針葉樹パルプメーカーとなりました。今回の増産分80万トンの大部分が当社経由で中国・アジア向けに販売されており、取扱量の増加

に加えパルプ市況が好調であることも追い風となり、過去最高益を達成しました。今後、当社のリーディング・グローバル・パルプトレーダーの地位を更に確固たるものとしていきます。

中国物流事業では、伊藤忠物流（中国）有限公司を軸に事業を推進しており、日系物流会社として最大の物流網を構築し、取扱量においても No.1 の地位に成長しています。急速に拡大するネット通販分野の商圈取込等により、更なる中国物流事業の収益拡大を目指していきます。

「Brand-new Deal 2017」における重要なステップ

北米フェンス事業の収益基盤強化

当社は、北米フェンス製造・販売の事業会社である MASTER-HALCO 社を通じ北米に5つの金網フェンス製造工場と53の販売拠点を展開しており、米国フェンス卸業界最大手の地位を確立しています。北米フェンス事業の更なる強化に向け、2018年1月に北米最大の木製フェンス製造会社である Alta Forest Products 社（Alta 社）の事業買収を実行しました。

Alta 社は米国北西部に4つの製材工場を有し、年間360百万ボードフィート（約850千 m^3 ）の木製フェンスを製造しており、希少な銘木である Western Red Cedar（米杉）製フェンス市場の75%を独占しています。Western Red Cedar は高い防腐性を備えたアロマ効果の高い樹種であり、見た目も美しいことから最高級のフェンスとして北米では非常に高い人気を誇っています。

今回の買収を通じ Alta 社と MASTER-HALCO 社の販売ネットワークとの相乗効果を見込むと共に、両社を軸に北米フェンス事業の更なる強化を実行していきます。



Alta 社フェンス

戦略の方向性

成長機会	戦略(打ち手)
次世代・新技術分野の急速な進歩に伴うビジネスモデルの変化	次世代・新技術の活用によるタイヤ・建材・不動産・物流事業等の更なる磨き込み
国内外の建材事業の収益機会創出	北米建材事業の収益力強化及び資産入替の推進
専門化・高度化する物流インフラサービス需要の拡大及び中国・アセアン地域の人々の生活水準向上による市場拡大	物流不動産のバリューチェーン構築による資産回転型モデル強化及び事業会社の基盤強化による中国物流事業拡大
ESGの観点からの中長期的な成長阻害要因	対応
生物多様性や地域社会の配慮に欠ける森林資源の取扱いに伴う地域社会や消費者の反対	認証未取得サプライヤーに対する取得要請の継続、サプライヤーへのサステナビリティ調査及び訪問を実施
生産時の温室効果ガス排出が大きいセメント事業の継続	セメント代替材としてのスラグ等副産物の供給側である製鉄所と需要側の間で継続的・安定的な商流を構築
開発途上国や新興国における未整備な社会インフラ及び地域社会の反対運動	電力供給施設や工業用水・排水プラント施設等の設備、警備体制等、安全・安心や環境に配慮したインフラ整備

(⇒ Page 64 サステナビリティ)

ESGリスクの低減に向けた取組み

セメント代替品「高炉スラグ」の世界No.1トレーダー

「高炉スラグ」とは、鉄鋼の製造工程の副産物です。セメント代替品としてセメントと混合して利用することで、セメントの原料である石灰石等の天然資源の節約が可能となり、更にセメントのみでコンクリートを作る場合に比べ製造時のCO₂発生を4割程度削減※できる環境に優しい商品です。

また、海水等への耐久性が高く、長期に亘り中の鋼材が腐食しにくいため、港湾の大型土木工事等に広く使われています。

当社は20年程前から国内外の「高炉スラグ」を約10カ国に販売、世界No.1スラグトレーダーとしての取扱量を誇ります。今後も、継続的・安定的な商流を構築し、スラグ事業への出資・参画を検討していきます。

※ セメントと高炉スラグを55:45で混合して使用した場合で試算

持続的成長に向けた取組みは、当社ウェブサイト サステナビリティページも併せてご覧ください。

<https://www.itochu.co.jp/ja/csr/activities/general/>



高炉スラグを使った建造物

重要な財務(普遍的)リスク

1	コンプライアンスリスク	10	為替リスク
2	法務関連リスク(コンプライアンスを除く)	11	金利リスク
3	安全保障貿易管理に関するリスク	12	資金調達リスク
4	関税関連リスク	13	情報システムリスク
5	カントリーリスク	14	情報セキュリティリスク
6	商品価格変動リスク(特定重要商品)	15	労務管理リスク
7	信用リスク	16	人材リスク
8	投資リスク	17	財務報告の適正性に関するリスク
9	株価リスク	18	内部管理に関するリスク

事業ポートフォリオと業績推移

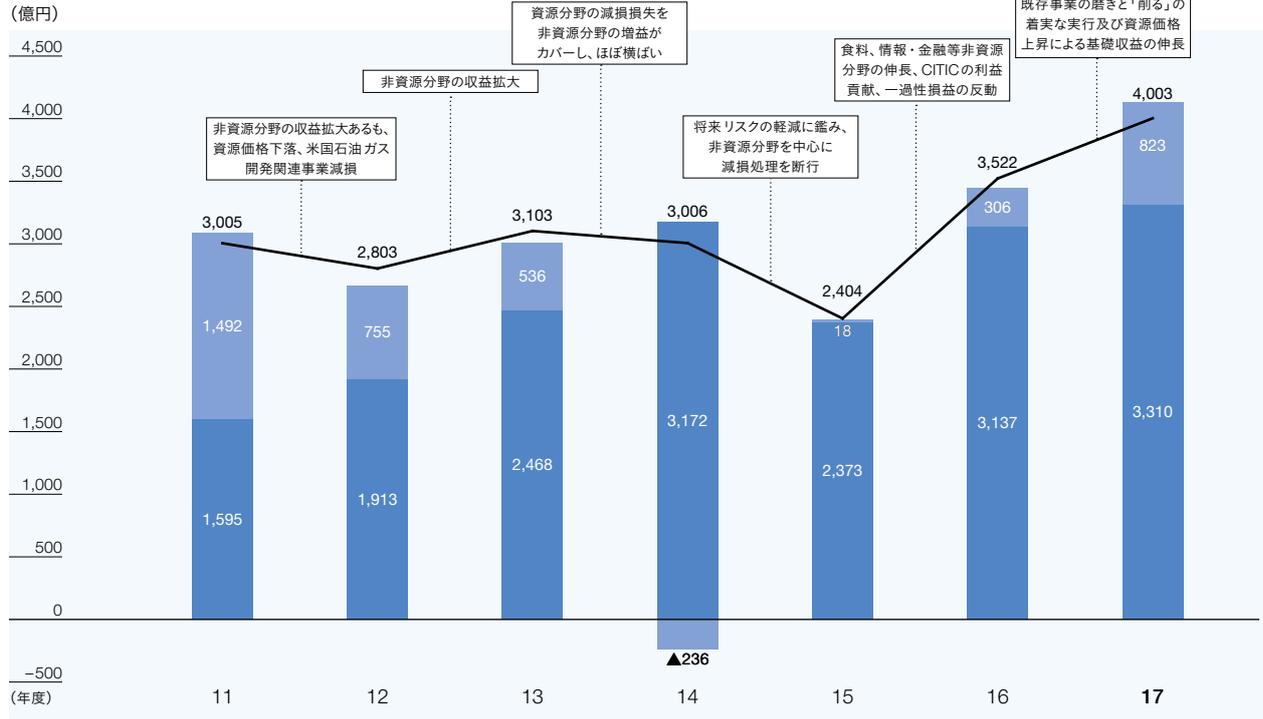
セグメント概要

全社の各重要数値に占めるカンパニー比率(過去3年平均)



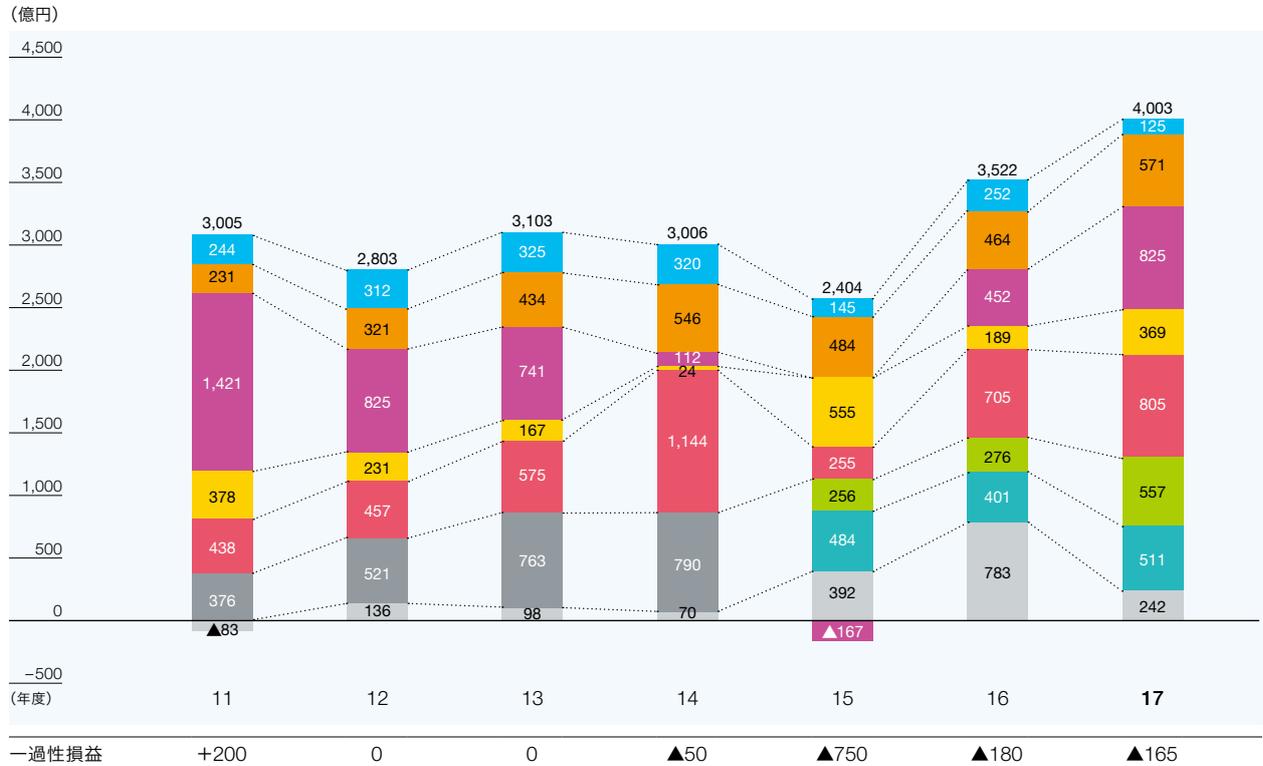
※ 2013年度以前は米国会計基準、2014年度以降は国際会計基準(IFRS)

連結純利益(非資源/資源)



一 連結純利益 ■ 非資源利益 ■ 資源利益
 ※ その他及び修正消去は、非資源利益、資源利益に含まれておりません。

オペレーティングセグメント別連結純利益



一 過性損益
 ■ 繊維カンパニー ■ 機械カンパニー ■ 金属カンパニー ■ エネルギー・化学品カンパニー ■ 食料カンパニー
 ■ 住生活・情報カンパニー(2014年度まで) ■ 住生活カンパニー(2015年度以降) ■ 情報・金融カンパニー(2015年度以降) ■ その他及び修正消去
 ※ 2016年4月より、「住生活・情報カンパニー」を「住生活カンパニー」と「情報・金融カンパニー」に改編しました。